

# 男女共同参画 三十一年

令和3年度 テーマ 「チャレンジ!! 私だからのライフバランス」

第1回セミナー「クリスマスコンサート」

12月4日(土) 13:30～15:00

会場: 市民プラザかぞ 3階 多目的ホール

出演: 大川 義秋 さん (箏男 kotomen)

(福島県双葉町出身の箏奏者、加須市観光大使)

♪ 注目の若き箏奏者と癒しのひと時を♪

定員: 50人

申込: 11月1日(月) 受付開始

(新型コロナウイルス感染症の影響により、中止になる場合があります。)



kotomen

男女共同参画社会の実現を目指して、今年度もセミナーを企画しています。

セミナーの参加に年齢や性別は問いません。みなさん、ぜひご参加ください。

セミナーの参加申し込み・問合せはこちら



加須市役所 人権・男女共同参画課

☎0480-62-1111(内線342)

TOKYO OLYMPICS

みんなに「笑顔」と「希望」をありがとう!



東京オリンピック聖火ランナー

大谷 貴子 さん

大谷さんからのメッセージ

今日を信じて生きれば必ず「あした」が来る。

「あした」を信じたら「あさって」が来る。

そう思って一日一日を自分らしく生きる。

トーチを掲げて走る大谷さんの笑顔には「ありがとう」の気持ちも込められていました。

みんなに「笑顔」と「希望」を、そして医療従事者のみなさんに、心から「ありがとう!」。



## 男女共同参画週間 パネル展



展示期間 6月16日(水)～6月30日(水)

場所 市民プラザかぞ 1階 エントランスホール

展示内容 ・日本女性会議 ・男女共同参画セミナー  
・ワーク・ライフ・バランス 他

ご覧いただきました皆様 ありがとうございます

## 編集後記

今年は新型コロナウイルス感染症とどう向き合い克服するかが大きな課題となり、新型コロナウイルスワクチン接種が急速に進められています。

また、コロナ禍日本で、2回目のオリンピックが開催されました。

病気のためオリンピックをあきらめていたのにも関わらず、1年延期になり力を発揮できた人、反対に延期になった為に出場できなかった人など、人生模様がたくさん詰まったオリンピックでした。

～市民企画委員会 広報部～



## 加須市男女共同参画情報紙

Vol. 22

2021.9.1

# ぱれっと



表紙イラスト: 森田 久子さん (騎西地域在住)

## もくじ

男女共同参画市民意識調査結果(抜粋) … 2

手と手

ワーク・ライフ・バランスを目指して … 3

男女共同参画セミナーのお知らせ … 4

男女共同参画パネル展のようす 他

「ぱれっと」は、男女にかかわりなく、たくさんの方がパレットの上で絵の具を混ぜ合わせるように、自分たちの暮らしを豊かに色づけできたらと、そんな願いを込めました。

□発行日/令和3年9月1日(年2回発行)

□編集/加須市男女共同参画市民企画委員会 広報部

□発行/加須市総務部人権・男女共同参画課

□Tel0480-62-1111(内線342) E-mail [jinken@city.kazo.lg.jp](mailto:jinken@city.kazo.lg.jp)

# 男女共同参画に関する市民意識調査の結果（抜粋）

加須市では、令和4年度から令和13年度までの10年間を計画期間とする「加須市男女共同参画プラン」の策定にあたり、男女共同参画の視点から市民の意識と実態を把握し、男女共同参画行政施策の基礎資料とするため、男女共同参画に関する市民意識調査を実施しました。

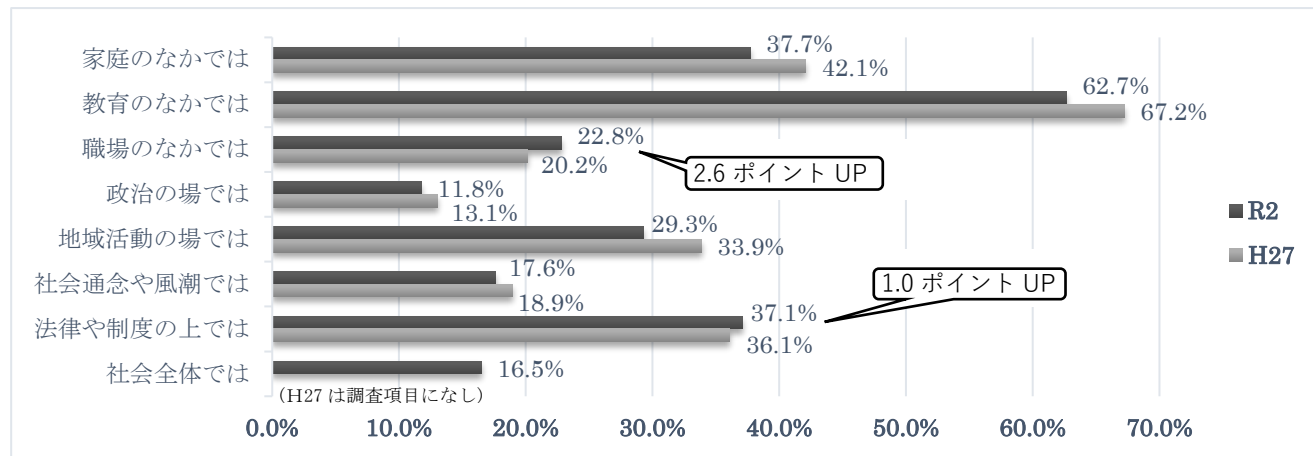


- 調査対象 ▶ 満18歳以上の市民（令和2年11月1日時点）
- 標本人数 ▶ 2,000人（男性1,000人・女性1,000人）
- 調査期間 ▶ 令和2年11月13日（金）～12月4日（金）
- 回答者数 ▶ 806人
- 回答率 ▶ 40.3%



## Question

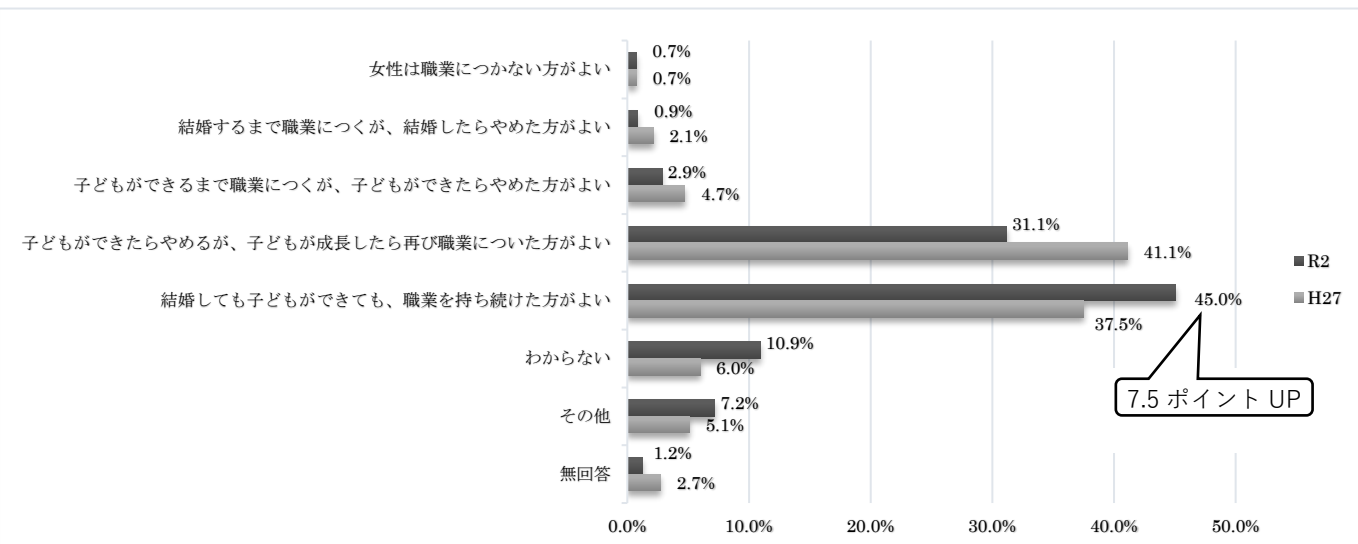
「あなたは次の分野で、男女の地位が平等になっていると思いますか？」  
という質問に対して、「平等になっている」と回答した方の割合



男女の地位の平等感について、令和2年度と平成27年度の調査結果を比較したところ、「職場のなかでは」と「法律や制度の上では」の項目において、「平等になっている」と回答した方の割合が、増加しています。

## Question

「女性が職業を持つことについて、あなたはどのように思いますか？」  
という質問に対する回答の割合



「結婚しても子どもができて、職業をもち続けた方がよい」と回答した方の割合が、平成27年度の調査結果より、7.5ポイント増加しています。

そこで、男女共同参画市民企画委員会では、「結婚後、子育てしながら、働く女性」にインタビューを行い、家庭と仕事の両立についてなど様々なお話を伺いました。

# ワーク・ライフ・バランスを目指して



楽しんでいます！！

仕事も子育ても



m-club

加須地域在住で、双子の子育てをしながら美容師として市内の美容室で働く、熊倉奈美(旧姓:岡村)さんにお話を伺いました。

## 夢 かなう

- ・高校卒業後2年間専門学校に通い美容師国家資格を取得した後、加須店（姉妹店）で働く。
- ・小学校1年生から夢だった美容師になり16年目を迎える。
- ・お客様が満足され、笑顔で帰る姿をお見送りするとき、とても充実した気持ちになる。

## 職場に感謝



- ・現在平日のみ時短勤務のパートタイムとして働く。
- ・産休前は体調を気づかって椅子を用意してくれたら、仕事を代わってくれたりしてもらった。
- ・子どもの体調が悪い時などに休みを取りやすい環境が整えられている。

## 復職まで2年

- ・結婚して6年目に双子が生まれる。
- ・仕事を続けるか悩むが周囲の人の後押しもあり復職を決意する。
- ・双子と一緒に預かってくれる保育所がなかなか見つからない。
- ・やっと保育所が見つかったのに、コロナの影響でさらに2か月遅くなる。



## 家族に感謝

- ・産休中は両親に子どもの世話を手伝ってもらい、今もよく遊んでもらっている。
- ・夫の両親は、畑で芋ほりや野原で虫捕り、追いかっこなど楽しませてくれる。
- ・子どもを一人病院に連れていくときは、もう一人を見ていてくれる。
- ・夫は仕事が忙しくても、子どもを風呂に入れてくれて、休日にはよく遊んでくれる。



## 双子の子育て

- ・一緒にいる時間を楽しんでいる。
- ・チャイルドシートや衣類など、何でも2つ用意する。
- ・同じ物に興味に向くので、お菓子やおもちゃの取り合いになることが多い。
- ・互いに思いやる優しさが見られる。
- ・双子ならではの成長を日々楽しみにしている。

## 取材を終えて

双子の子育てはとても大変だと思うのに、「仕事も子育ても楽しくて楽しくて」と答えてくれた熊倉さん。そして、家族や職場の協力で感謝し、こんなにも楽しく子育てと仕事が両立できていることに感心しました。全ての子育て世代の方が、熊倉さんのように笑顔でいられる社会が当たり前になってほしいです。私たちが笑顔で自分たちのできるサポートをしたいと思っています。

## 仕事と子育ての両立に欠かせないこと

『笑顔』

- ・自分が元気であること
- ・家族と職場の理解と協力



堪太&源太ちゃん